

わたしの大切な風景

自分の大切な風景を、思いが乗るようによくふりながら描く。

身の回りにある日常の風景。
風や光、音を感じ、思い出しながら表そう。
それはきっと、自分だけの大切な風景。



↑月を見るわたし (38×54cm 絵の具、ペン)
夜、ネコと月を見ている様子を画しました。月を大きく、空を暗くして、月の明るさを表現しました。山も月明かりで明るく光っています。夜の静かな感じも表しています。



上の方を小さくかいて、おくに向かっていく感じにしよう。

小さな紙に書いてもいいね。



↑川にうつるきれいな桜 (38×54cm 絵の具、クレヨン)

風景への思いに合う形や色を見つけ、くふうして表す。

大切な風景を見たり思い浮かべたりし、どのように表すかを考える。

大切な思い出や風景を絵に表すことを楽しむ。



どこから見るといいかな。いろいろな点を見よう。



いろいろな見方を試すと、いいなと思う見え方が見つかるね。思いに合う形や色の使い方も考えよう。



↑大切な思い出がつまった風景 (38×54cm 絵の具、ペン)

がんばったお友達に贈るための、お友達から見た風景をかきました。わたしにとって大切な思い出、教室から見た風景や、お友達と過ごした思い出もかきました。



↑わたりのうしろからの景色 (34×38cm 絵の具、コンパス)
いつも通るわたりのうしろから見た景色をかきました。少しは見えないけれど、運動場の楽しい様子が伝わるように、友だちとたくさんかきました。



↑ぼくの住むまち (38×54cm 絵の具、クレヨン)



↑景色に思いが乗る (38×54cm 絵の具、クレヨン)

↑きをつけよう
外に出る時は、活動してもよい場所かどうか確かめよう。

↑かたづけ
使った筆はあらってしまおう。

表した風景への思いが深まって、もっと多くの人に伝えたくてなつたよ。

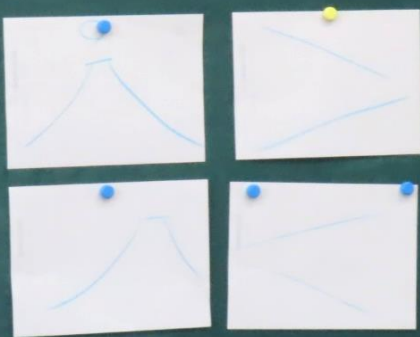


わたしの大切な風景

8時間

構図

思い出に残っている



・左右対称でないもの
・遠近が感じられるもの
・一番に描きたいものが映えるように























